

# 大阪・関西万博を見据えた新たな舟運ルートの発掘・創出に係るクルーズツアーの社会実験 [モニタークルーズの実施内容]

## ■目的

万博を契機に、海上交通の活用による広域周遊の実現を図るため、神戸～大阪間の新たな航路の実現可能性・方策を模索する社会実験を実施。  
※「兵庫・大阪連携会議」において、広域海上観光圏形成をめざした取組みの一環。

ツアー参加者の  
ニーズ分析  
(モニターアンケート)



舟運事業の  
採算性分析  
(ヒアリング)

旅行商品化の提案

## ■モニタークルーズの概要

【実施日】令和6年1月29日（月）

- 往路（大阪港 ⇒ 神戸港）  
復路（神戸港 ⇒ 大阪港）
- クルーズツアーならではの非日常感を味わうため、海上での景色、時間的解放感などを演出

### 【参加者】

- 一般参加者（外国人を含む）
- 関係者（旅行会社等やメディア関係者）

一般募集期間：令和5年12月27日（水）～令和6年1月14日（日）

周知方法：チラシの配布、事業者ホームページ、インフルエンサーによる告知など

※応募者多数のため抽選を実施。



チラシリンク  
hodo-49930\_4.pdf  
(osaka.lg.jp)



## デイクルーズ 大阪→神戸

参加費：1,000円  
乗船者総数：130名  
一般：99名（内、外国人 3か国計23名）  
関係者：31名

- 11:00 大阪港出港  
・建設中の万博会場を見学
- 11:20～ LUNCH  
・地域食材を使用した「大人様ランチ」
- 12:20～ 船内イベント  
・神戸空港付近での飛行機の離発着見学  
・操舵室の見学  
・大阪製ブランドの展示  
・神戸港周辺の景色を見学
- 13:30頃 神戸港着岸



## ナイトクルーズ 神戸→大阪

参加費：2,000円  
乗船者総数：110名  
一般：82名（内、外国人 12か国計30名）  
関係者：28名

- 17:00 神戸港出港  
・サンセットタイムの神戸港周辺の景色を堪能  
・神戸空港付近での飛行機の離発着見学
- 17:20～ DINNER  
・地域食材を使用したバイキング
- 18:30～ 船内イベント  
・大阪港の夜景見学  
・ナイトイベント（ダンス）  
・大阪製ブランドの展示
- 19:30頃 大阪港着岸



## 多言語案内ツール「Kotozna-In room」の活用

QRコードからKotoznaにアクセスしイベントの様々な情報をアプリ上から提供。多言語対応しており、スマホ機種依存にて外国人の方にもご案内が容易。



- 使用船舶  
日本最大のレストランクルーズ船「ルミナス神戸2」



LUMINOUS KOBE-2

運営会社：株式会社神戸クルーザー  
運航会社：株式会社 Sevenseas cruiser



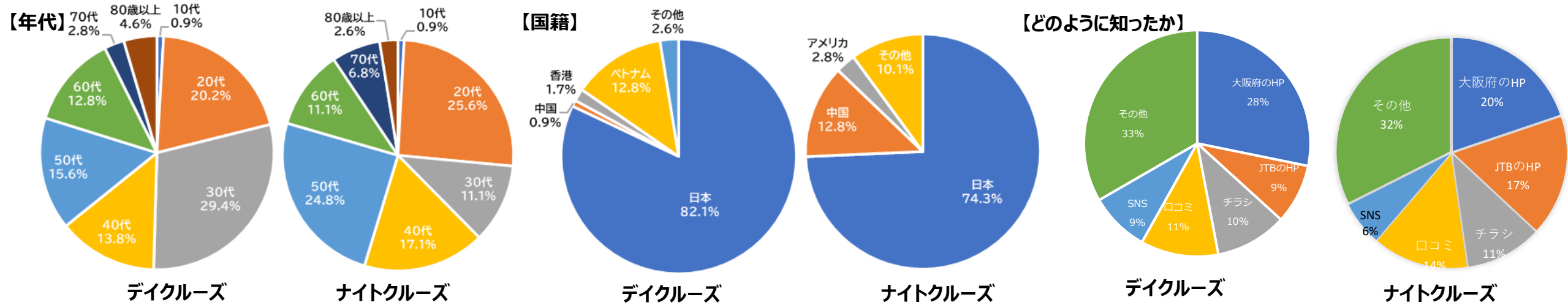
# 大阪・関西万博を見据えた新たな舟運ルートの発掘・創出に係るクルーズツアーの社会実験 [アンケート結果]

## 【参加者アンケート】

### ①方法

WEBフォーム又はアンケート用紙にて回答いただく

### ②参加者の属性



### ③アンケート結果概要

#### (まとめ)

- 神戸～大阪間のクルーズへの高い関心が窺える。(約9割の参加者が「またクルーズに参加したい」と回答)
- 乗船料金は、比較的価格帯(5千円まで)のニーズが高いが、高価格の商品を望む声もある。
- 船内コンテンツは、舟ならではの体験イベントが比較的好評(操舵室見学(デイクルーズ)、夜景(ナイトクルーズ))。

- ・クルーズの満足度 : デイ89%、ナイト83% ※同様のクルーズが実施された場合、「是非参加したい」又は「参加したい」と回答
- ・乗船料金(本クルーズが実施された場合、いくらまでなら参加したか) : デイ ①2,000～3,000円(34%) ②3,000～5,000円(25%)  
: ナイト①3,000～5,000円(40%) ②2,000～3,000円(17%) ※「7千円から1万円でも良い。」との意見もあり
- ・船内コンテンツの満足度 : デイ 操舵室見学68.4%、大阪製ブランド59.8% ※「満足」と「やや満足」との合計  
: ナイト 大阪湾の夜景69.4%、大阪製ブランド52.3%
- ・食事の満足度 : デイ55%、ナイト71% ※「満足」と「やや満足」との合計

### 【舟運事業者及びホテル旅行会社含む観光関係者の主な意見】

- ・高額商品でも食事のグレードアップ等をすれば需要があるのではないか。
- ・幅広いターゲットを取り込むため、価格帯を分けて販売していくのがよいのではないか。
- ・移動手段と食事の両方を兼ねた商品や、時期毎にターゲットを変えて商品売り出すことが現実的ではないか。
- ・万博にあわせて新たな航路を検討したい、という意向を持った事業者もあったが、「万博(夢洲)の棧橋が使用できるかどうかかわからないので、判断できない」などの慎重な意見もあった。
- ・川舟で夢洲までいけないので、川舟と、海船を乗換える必要があるとの意見もあった。

# 大阪・関西万博を見据えた新たな舟運ルートの発掘・創出に係るクルーズツアーの社会実験 [提言]

## 委託事業者からの提案

### ■ 旅行商品を造成するにあたっての方向性

- クルーズを楽しめるよう食事や船内コンテンツを提供する(1時間30分程度)商品設定が望ましい。
- シーズン毎に、利用者のニーズに合わせたツアー内容とする(修学旅行や夏休み、クリスマスなど)。
- 利用者の多様なニーズに合わせるため、1回の航行で多くの旅行プランを提供することが望ましい。
- アンケートは、比較的安価な商品のニーズが高かったことから、1回の運航当たり200名以上の乗船者数を目標にするのが望ましい。

### ■ 実現性の高いクルーズプラン

- ツアー航路 神戸港と大阪港を結ぶルート
- ツアー設定日 **平日** 修学旅行・法人需要による貸切での利用。  
(一般募集で200名の集客は厳しい)
- **週末・祝祭日** 一般募集で運航(200名以上乗船)

#### リーズナブルプラン

1ドリンク付  
3,800円程度～



#### 基本プラン

ビュッフェ  
@8,000円～  
\*ディナータイムは12,000円程度



#### グレードアッププラン

コース料理  
@20,000円程度



## 将来のビジョン

### ■ 将来に向けて模索したいと考える選択肢(案)

| プラン            | 航路          | 料金設定      | 内容                              |
|----------------|-------------|-----------|---------------------------------|
| モーニングクルーズ<br>① | 大阪港⇄<br>大阪港 | 3,000円程度  | 朝日を見ることができる時間設定                 |
| モーニングクルーズ<br>② | 神戸港⇄<br>大阪港 | 10,000円程度 | 朝日を見ることができる時間設定<br>万博会場チケット付プラン |
| アフタヌーンクルーズ     | 神戸港⇄<br>大阪港 | 5,000円程度  | 15時～16時半頃の時間設定<br>神戸スイーツ堪能プラン   |

### ■ 到着後の観光地周遊(案)

| プラン                | 観光地                   | 組合せ例/内容  |
|--------------------|-----------------------|--|
| デイクルーズ<br>大阪港→神戸港  | 神戸元町スイーツ巡り            | 神戸港着後オプションとして「神戸元町スイーツ店巡り」へご案内するツアー              |
|                    | 神戸市内ホテル又は有馬温泉宿泊セットプラン | 宿泊セット付プラン(宿泊場所は要検討)                              |
| ナイトクルーズ<br>神戸港→大阪港 | 大阪市内夜間クルーズ            | 大阪港着後OPとして「大阪市内ナイトクルーズ」を販売。大阪市内1周乗船もよし、途中下船とも可能。 |
|                    | 海遊館とのセットプラン           | 夜の海遊館(17時以降)が楽しめる入場券セット付プラン                      |
|                    | 大阪市内ホテル宿泊セットプラン       | 大阪港から最寄りの港までの乗船券が付いた宿泊セット付プラン                    |

### ■ その他の展望

#### ● 宿泊付き航路の実現

- ・特に淡路島航路は3時間以内で行くことが可能。
- ・到着後の移動手段が懸念点であり、現時点での採算性を踏まえると実現が困難。但し、チャレンジの可能性はあると考える。

#### ● 富裕層向けのVIPプランの造成

- 例：乗船料 @15万円程度
- ・高級ホテル監修のコース料理、飲み放題、専属ガイド付き、多言語対応、特別個室を用意、記念品(非売品)プレゼント、ミヤクミヤクとの記念写真撮影権利など

船舶の着岸・停泊場所の確保

着岸してから出航するまでの停泊場所がなければ着岸後、速やかに離岸する必要あり。  
夢洲に着岸することができないため、小型の海船を運航するほかの舟運事業者との連携が必要。

課題 インバウンド対応  
今回使用した多言語案内ツール「Kotozna」をアレンジすれば、多言語対応について一定の解決が可能。開発コストが必要。

食事提供のスピードアップ  
コース料理やプレート料理では、大人数の場合に提供に時間がかかる。バイキングならスムーズだが、コスト面と食品ロスが課題。